

授業科目名	生活支援技術 I			履修期	2016年度 秋学期		
担当者	橋本 彩子					NO.	HS-SW-2-505
配当学科	社会福祉			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解:介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の人の介護をする時の判断の基準となる原則を理解している。 ・介護過程の基礎的理解:介護サービス提供の基礎となることが理解できる。 ・総合生活支援技術演習:事例をとおして、生活支援技術を提供する流れの理解、支援技術を適用する考え方の理解と技術を習得する。 						
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の利用者の心理・行動の実際を示す等により、認知症の利用者の心理・行動を実感できるよう工夫し、介護において認知症を理解することの必要性に気づく。複数の具体的なケースを示し、認知症の利用者の介護についての原則を理解する。同様に介護する家族への支援の在り方も考察する。 ・介護過程の目的・意識・展開・介護過程とチームアプローチ。 ・総合生活支援技術演習(事例による展開)、生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供視点の習得を目指す。 						
評価方法	定期試験(80%) 演習課題(10%) 受講態度(10%)						
履修条件・注意事項	介護従事者としての資格を取得することに意欲的であること						
自己学習	授業時間内での演習課題に積極的に取り組むことができるように、演習課題とつながりの深い福祉関係の課題に関心を持ち、情報収集をおこなっていく。						
オフィスワ-	授業終了後						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症を取り巻く状況 2. 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 3. 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 4. 認知症の人を介護する家族への支援 5. 専門性を生かした介護過程の展開 6. 7. 総合生活支援技術演習 「こころとからだ」の力が発揮できない要因を分析し、支援技術の分析・演習を行う。 事例1) Yさん・80歳・女性・要介護4(老健入所中、在宅を可能にする援助) 8. 9. 事例2) Oさん・88歳・女性・要介護2(グループホーム入所中、「共に行う」視点) 10. 11 事例3) Aさん・81歳・女性・要介護1(独居、軽度認知症、施設サービス利用法) 12. 13 事例4) Kさん・88歳・女性・要介護5(特別養護老人ホーム入居中、寝たきり) 14. 事例1, 2, 3, 4の支援の全体像を話し合う 15. 振り返り・今後の課題 16. 試験 			講義 講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習 グループワーク 講義 筆記試験	橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本
教科書 1	介護職員初任者研修テキスト 出版社: 日本医療企画						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							